

小学校におけるキャリア教育

小学校におけるキャリア教育は、義務教育の9年間を見通した上で、全教育活動の中で意図的・継続的に推進していくものである。特に、小学校6年間は成長が著しく、社会的自立・職業的自立に向けて、その基盤を形成する重要な時期である。家庭・地域・学校の活動の中で、自分の役割を果たそうとする意欲や態度を育てることが重要である。また、日常的な様々な「役割」遂行の経験を積み重ねながら、計画的・系統的に「自分の生き方」について考えることができるようにしたい。

「小学校キャリア教育の手引き（改訂版）平成23年5月文部科学省」

愛知県教員研修の手引より

自己有用感

他者の存在を前提として自分の存在価値を感じ、誰かの役に立てたという達成感や、誰かから必要とされているという満足感

愛知県教育委員会の定義より